

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	生活科教育法				
担当者氏名	中村 哲也				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

活動や体験を通して学ぶ生活科の学習の在り方をふまえ、本授業でも学生が自ら主体的に関わるような活動的な学習が中心になる。一方で生活科は「活動あって学びなし」と言われことがある。それは教師の側が活動のねらいや目的をしっかりと理解していないためである。そこでしっかりとした生活科の目的を押さえたうえで活動を行うようにしたい。

《テキスト》

わたしとせいかつ（上）（下）日本文教出版 令和2年度版

《参考図書》

適宜資料を配布する

《授業の到達目標》

知識としてではなく実際に活動者としての視点を身につけてほしい。実際に活動する子どもの視点を身につけることで教師になったときにどのように子どもに働きかけたらいいかが分かる。そこで制作物なども生活科の視点や意図や目的を踏まえて「子ども目線」になって取り組めるようになってほしい。

《授業時間外学習》

予習・復習の内容、方法は授業時適宜紹介する

《成績評価の方法》

平常点20% 提出課題 80%

（授業で使用したワークシート30% 授業課題50%）

平常点には、出席と授業への積極参加度合いが含まれます。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校の教員経験に基づいて構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方 評価方法など
2	生活科の学習活動と目的 ①	今までの生活科の授業を振り返る 生活科の教科としての視点や目的を考える
3	生活科の学習活動と目的 ②	「学校たんけん」の内容と目的を確認する
4	スタートカリキュラム①	スタートカリキュラムの目的や内容を知る 「仲間づくりの遊び」を考える
5	スタートカリキュラム②	自分たちで考えた「仲間づくり」を実施する
6	スタートカリキュラム③	自分たちで考えた「仲間づくり」を実施する
7	「季節見つけ」①	「夏見つけ」の目的や内容を知る
8	「季節見つけ」②	季節見つけのポイントを知る
9	「季節見つけ」③	観察カードの交流 ネイチャーゲームの実施
10	「まちたんけん」①	「まちたんけん」の目的と内容を確認する
11	「まちたんけん」②	自分の地域の「まちたんけん」を行う
12	「まちたんけん」③	自分の地域の「まちたんけん」をパワーポイントのまとめる
13	「まちたんけん」④	各自がまとめた「まちたんけん」のスライドを相互に視聴して感想を交流する
14	「自分の成長を伝えよう」①	自分の成長を振り返りまとめる
15	「自分の成長を伝えよう」②	自分の成長を振り返りまとめたもので交流し感想を言い合う